

森づくり サポーターニュース

県営都市公園
びわこ地球市民の森

Vol. 90

令和6年9月20日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312
biwako@moridukuri.info https://www.moridukuri.info

森の生き物たち (2: 節足動物)

今年度のシリーズ「森の生き物たち」は生態系ピラミッド下位の生産者(植物)から始めました。第2回は一つ上の第一次消費者である節足動物(昆虫類・多足類)を紹介します。

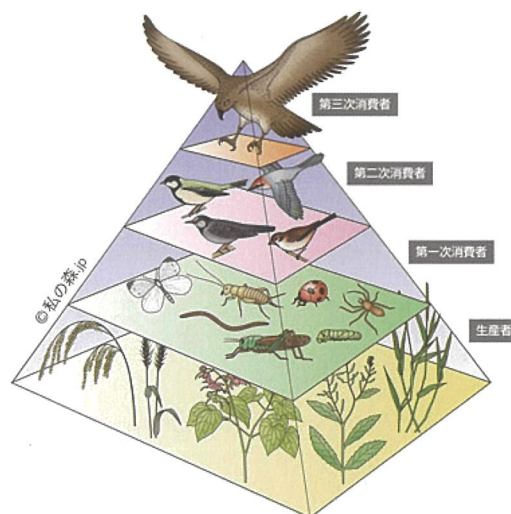
平成29年度、令和4年度の2回の調査によると、森の中にはヘラクヌギカメムシ、カギバアオシャク、クイロクチキムシ、ヒメナガニジゴミムシダマシなど樹木を利用する昆虫が、草地にはホシササキリ、マダラバッタ、アカハネナガウンカ、ツバメシジミなど草を利用する昆虫が、水辺にはシオカラトンボやアメンボなどトンボや水生昆虫がいました。また、間伐木を集めたエコスタックや伐木には、ナミクチキムシ、ゲジ、マクラギヤスデ、枯木に生えたキノコを食べるルリオオキノコムシ等がいました。このように様々な環境が存在することによって多様な昆虫等の生息が可能になっていると考えられます。

トンボ類は10種のうちシオカラトンボが多く、次いでアオモンイトトンボが多く見られました。また新たにクロスジギンヤンマが確認され、アキアカネとナツアカネは今回減少しました。チョウ類は17種のうち草地から森にかけて生息するキタキチョウが増加し、過半数を占めました。次いで草地に生息するツバメシジミが多く、前回多かった草地性のモンキチョウとベニシジミは減少しました。

交尾や産卵といった繁殖行動が見られたアオモンイトトンボ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ツマグロヒョウモン、ゴマダラチョウ、モンキチョウ、キタキチョウについては、この森が幼虫の生息可能な場所になっていると考えられます。

チョウ、ハエ、コウチュウ、ハチ(目)はヤマハギやイヌコウジュなど^{もく}在来種にも訪花していましたが、シロツメクサ、オッタチカタバミ、ムクゲなど外来種や園芸種も多く利用していました。サトキマダラヒカゲ、カナブン、スズメバチ類はクヌギ等の樹液で確認されました。また、クワガタムシやカブトムシ、タマムシなども森の中に生息しています。

以上紙面が足りませんが、節足動物の昆虫11目124科458種、多足類3目4科4種が令和4年度に確認されました。詳しくはホームページの「森の図鑑」をご覧ください。



生態系ピラミッド



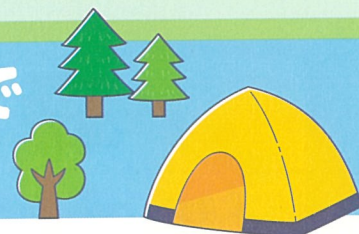
マダラバッタ(草地)



森周辺で見られたナガサキアゲハ



タマムシ(滋賀県:分布上重要種)



今回のサマーキャンプは、自然と触れ合いながら新しいことを学び、初めて出会う仲間と協力することで得られる多くの気づきと感動に満ちた素晴らしい体験を目的とし開催しました。

○日時:令和6年8月19日(月)12:45～8月20日(火)11:00 ○参加者:24名

○会場:びわこ地球市民の森 森づくりセンター 周辺

会場は緑豊かな森に囲まれ、周辺には川が流れ、自然の美しさが広がっていました。空気が新鮮で、街中の喧騒を忘れさせる静寂が心地よかったです。夜になると虫の鳴き声が広がり、日常ではなかなか見られない光景に感動しました。

○体験内容

サマーキャンプでは様々な遊びが用意されていました。クラフト体験や水遊び、キャンプファイヤー、昆虫観察など、どれも街中では体験できない内容ばかりでした。特にクラフト体験では、ドングリや松ぼっくりなどを使いフォトフレームを制作しました。子ども達は思い思いの作品を作りました。

キャンプならではの楽しみの一つが食事です。自分たちで野菜などの下準備をして作ったカレーは格別でした。ダッチオーブンで野菜やお肉を調理した料理はどれも美味しく、みんなで作り食卓を囲んで食事することでより一層の美味しさを感じました。



交流会の様子



みんなで夕飯づくり



いただきま～す



クラフト体験



キャンプファイヤー



夜の昆虫採集

○まとめ

途中雨も降りましたが8月の暑さも忘れるほど充実した時間を過ごすことができ、来年もぜひ開催したいと思います。自然の中でのキャンプは、日常からの解放と新たな発見をもたらしてくれる貴重な体験です。皆さんもぜひ来年のサマーキャンプに参加してみたいはいかがでしょうか。



第2回 森づくりサポーター活動 <育樹活動&自然教室>開催!

令和6年7月30日(火)、梅雨明けの暑いなか、今年度の第2回森づくりサポーター活動の育樹活動が開催されました。

当日は、森づくりサポーター49名の皆さんが参加し、平塚所長のあいさつと作業内容の説明のあと、出会いのゾーンに移動し、森のなかでの活動が始まりました。

今回の活動区域は、もりもり山周辺の平成18年から平成20年に植樹したエリアで、クヌギやコナラ、アキニレなどで混みあった森の間伐作業を行っていただきました。

暑い中での作業でしたが、サポーターの皆さんは熱心に作業に取り組んでいただき、森のなかには明るさを増して木々が一層元気そうに見えました。



開会式の様子



徒歩で移動



作業の説明



間伐作業



間伐作業



枝払い作業

自然教室は、7月20日(土)に実施しました。森づくりサポーター4名、ガールスカウト20名、計24名の皆さんに参加していただき、江見先生の指導のもと、里の森ゾーンの森林で「自然とふれあいウォークカード」を持って自然観察を行いました。梅雨空け間近かで曇り空のもと、カワラナデシコやキキョウなどの秋の七草や、アケビの実や生育途中のドングリの観察などについて学んでいただくことができました。



開会式の様子



自然観察



自然観察

森づくりサポーターの皆さまへ

LINE公式アカウント

登録よろしくお願いします



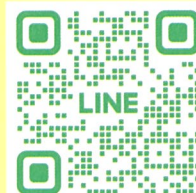
サポーター活動の募集

通常サポーター活動以外の森林整備、竹林整備、その他サポート活動(イベント等)の募集

イベント情報

モリック、デイキャンプ、交流会等各種イベントのお知らせ

このような情報を
配信いたします



トンボが増えてきました



森づくり トピックス

びわこ地球市民の森で行われた浚渫工事が終了し、その後トンボの数が増加しています。浚渫工事は、水路や川の底にたまった泥やゴミを取り除く作業で、これにより水質が改善され、トンボの生息環境が整い周辺から産卵や縄張り拡張の為に集まっています。

トンボは水質の良さを示す生き物であり、今回の増加はびわこ地球市民の森の自然環境が回復しつつある証拠です。この変化は、自然と共存する大切さを私たちに教えてくれています。



お知らせ

～第3回森づくりサポーター活動のご案内～

秋たけなわの絶好の季節に、第3回サポーター活動を開催します。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和6年10月19日(土) 自然教室
10月30日(水) 育樹活動

☆いずれも 受付 9:00～ 活動時間 9:30～11:30

☆申し込み方法等、詳細についてはびわこ地球市民の森HPに掲載させていただきます。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R5)	241,551人
森づくり活動参加者数(R5)	3,418人
うち育樹活動参加者数(R5)	2,549人

編集 後記

今年の夏は記録的な猛暑となり、森での活動も暑さとの闘いであったかと思います。

これからは本格的な秋を迎え、森で活動するのに絶好の季節となります。皆様方のお越しをお待ちしております。